

22
エゼキヤ
聖徒伝 243

光のあるうちに 光を信じなさい

エレミヤ書 22章 エホヤキン王への裁きの宣告

Shikaoichurch.com

40

アウトライン

- 0. イントロダクション
- I. 王家への警告 22:1～9
- II. 先の王たちへの裁き 22:10～23
- III. 第二次バビロン捕囚 22:24～29
- IV. まとめと適用

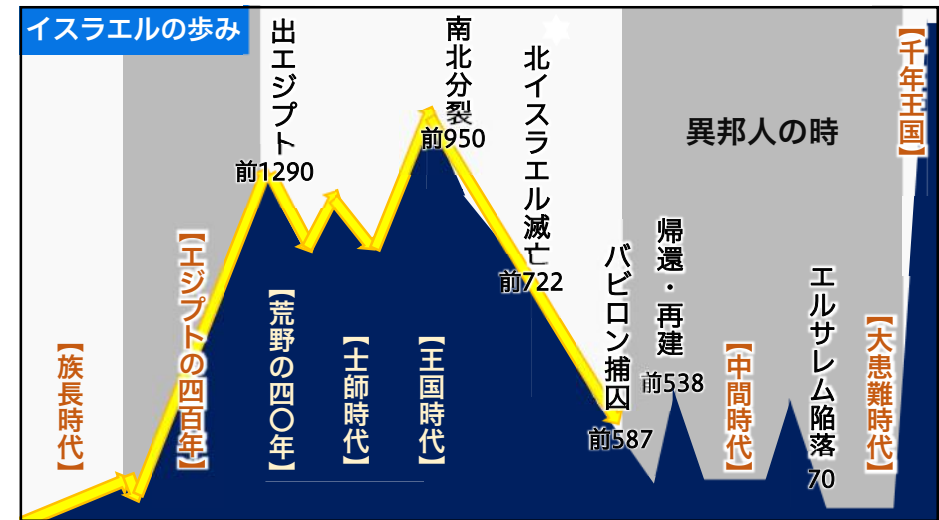
最後まで残されている救いの希望

聖書 新改訳2017 ©2017 新日本聖書刊行会 許諾番号4-1062-2

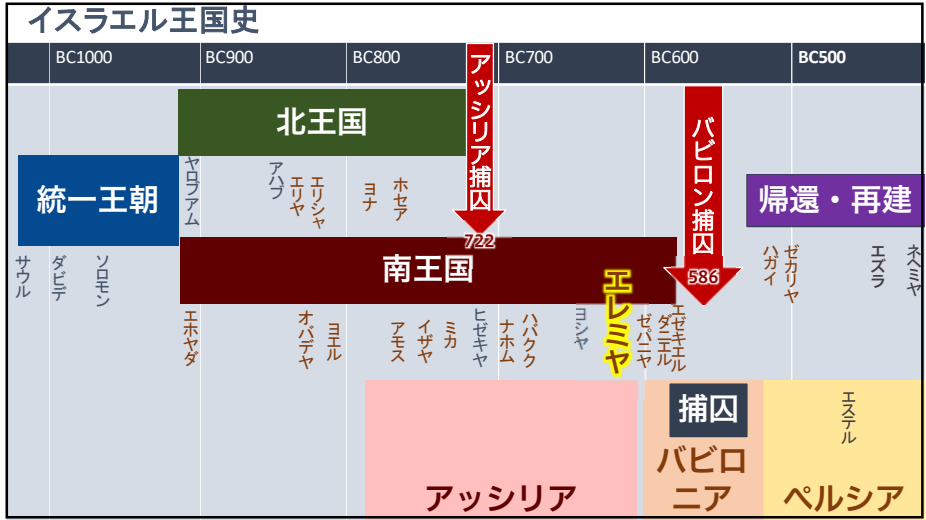
41



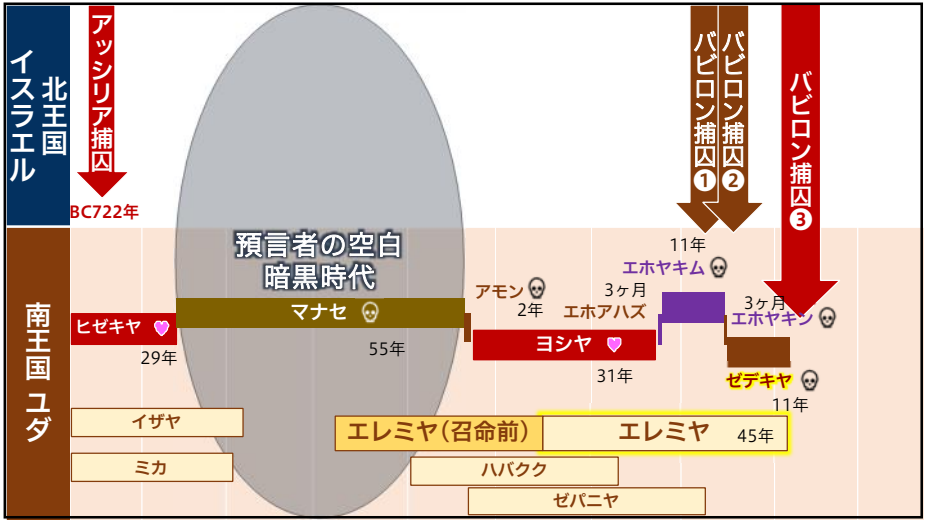
42



43



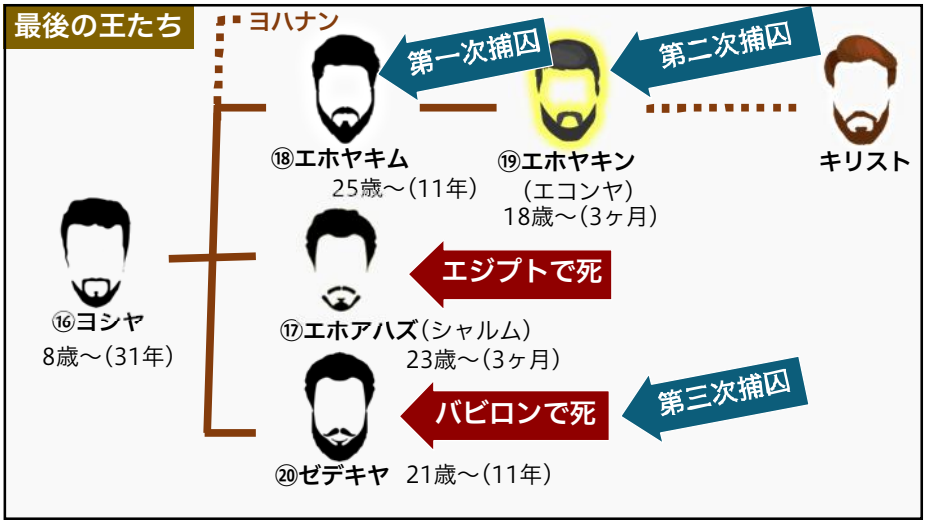
44



45

エレミヤ書の構成		
章	時代	おもな内容
1～12	ヨシヤ王の時代	エレミヤの召命 エルサレムの罪状と裁定
13～20	エホヤキム王の時代	捕囚の預言
21～38	混沌の時代① エホヤキム、エホヤキン、ゼデキヤ (※年代は混在)	帰還の希望(23～29章) エルサレムの滅亡 慰め
39～44	捕囚後	
45～51	混沌の時代② エホヤキム、エホヤキン、ゼデキヤ (※年代は混在)	エルサレムの滅亡 諸国への預言
52	まとめ	エレミヤの生涯

46

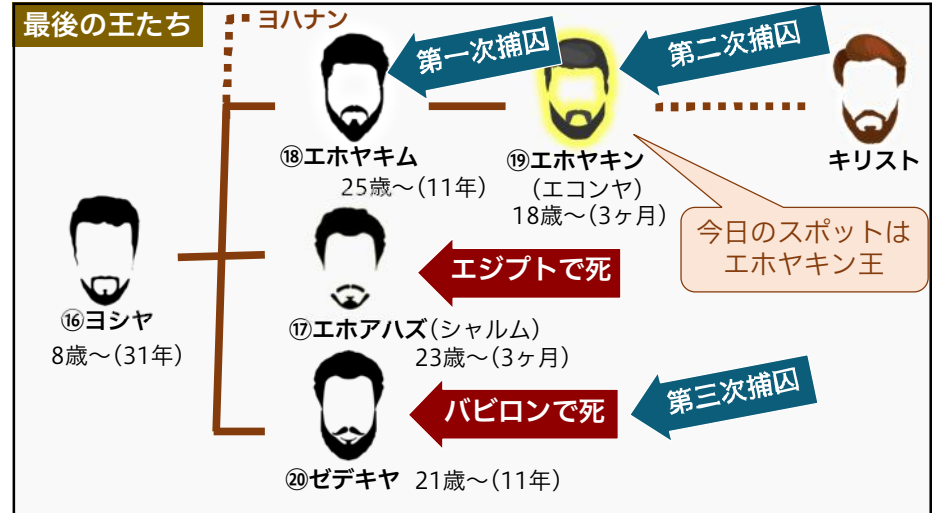


47

ヨシヤの子たちの年齢順は？

- II 列王記23～24章(II 歴代誌36章)の記述に基づく、
 ①エルヤキム ②エホアハズ ③ゼデキヤ
- I 歴代誌3:15では、
 「ヨシヤの子は、長子(第一に)ヨハナン、
 次男(第二に)エホヤキム、三男(第三に)ゼデキヤ、
 四男(第四に)シャルム。」
 ➡第四が、年齢順で四男を指すとは限らない

48



49

エホヤキンに告げられる、捕囚の裁き

- 主は、エホヤキンに、回心を促し、裁きを告げる。
- 先々代の王・おじエホアズは、エジプトで虜囚の身。
 先代の王・父エホヤキムは、バビロンで虜囚の身。
 ➡おじも、父も、虜囚先で悲惨な最期を迎える
- そして、エホヤキンには、第二次バビロン捕囚が迫る

50



I. 王家への警告 エレミヤ書22章1～9節

51

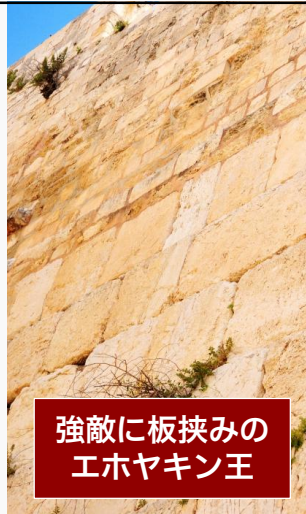
警告 主のことば エレミヤ22:1～2

【主】はこう言われる。「ユダの王の家に下り、そこでこのことばを語れ。

『ダビデの王座に着くユダの王よ。あなたも、これらの門の内に入って来るあなたの家来も、またあなたの民も、【主】のことばを聞け』

■22章の一連の警告は、エホヤキン王に向けられたもの。

- 父エホヤキムは、南のエジプトで人質
- 北からは、バビロニアが侵略



強敵に板挟みの
エホヤキン王

52

警告 公正と正義を エレミヤ22:3

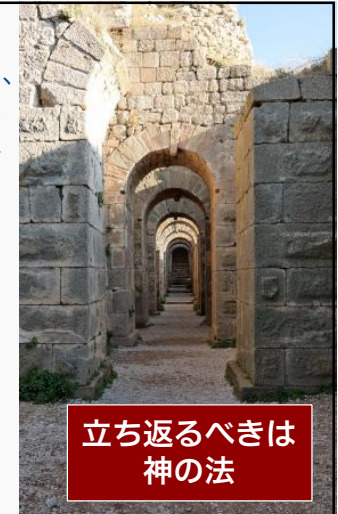
【主】はこう言われる。公正と正義*を行い、かすめ取られている者を、虐げる者の手から救い出せ。寄留者、みなしご、やもめを苦しめたり、いじめたりしてはならない。また、咎なき者*の血をここで流してはならない。

*主の律法にのっとった公正と正義

*筆頭が預言者。主に忠実な信仰者たち。

→歴代の悪王は、預言者を迫害

■公正な裁き(統治)、社会的弱者の保護は、律法が指導者に課した重大な責務。



立ち返るべきは
神の法

53

警告 祝福の約束 エレミヤ22:4

もし、あなたがたが**このことば**を忠実に行うなら*、ダビデの王座に着く王たちは車や馬に乗り、彼らも、その家来も、またその民も、この家の門の内に入ることができる。

*律法を守る者への祝福は、変わらずある

■神の目には、立ち返る王は現れないのが、明らかだが、**律法の原則**は変わらない。

→守る者には祝福、破る者には呪い



54

警告 王家の凋落 エレミヤ22:5～6

しかし、もしこのことばを聞かなければ、わたしは自分にかけて誓うが——【主】のことば——この家は必ず廃墟となる。』

まことに、ユダの王の家について、【主】はこう言われる。「あなたは、わたしにとっては**ギルアデ**、**レバノンの頂***だが、必ず、わたしはあなたを荒野にし、住む人もいない町々にする。」

*ヨルダン川東岸、イスラエル北方

■アブラハムへの約束は、永遠に有効だが、目の前に迫った裁きは逃れようがない。



55

警告 破壊者たち エレミヤ22:7

わたしはあなたを攻めるために、それぞれ武具を持つ破壊者たちを取り分ける。彼らは、最も美しいあなたの杉の木*を切り倒して火に投げ入れる。

＊希少で非常に高価な輸入材

■ ソロモン以来、王たちは、王宮を
主の神殿以上に豪華に飾り立てていた。



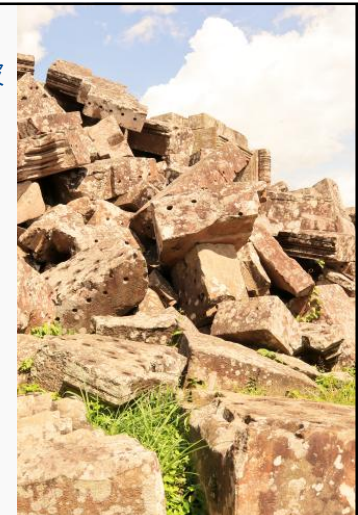
56

警告 神の怒りの結末 エレ22:8～9

多くの国々の者がこの都のそばを過ぎ、彼らが互いに、『何のために、【主】はこの大きな都をこのようにしたのだろうか』と言えば、人々は、『彼らが、自分の神、【主】の契約を捨ててほかの神々を拝み、仕えたからだ*』と言う。」

＊モーセを通して警告。申命記29:24～25

神の法を破ったのが裁きの理由



57



Ⅱ. 先の王たちへの裁き

エレミヤ書22章10～23節

ユダの荒野

58

御告げ 虜囚のために エレ22:10

死んだ者のために泣くな。その者のために嘆くな。去って行く者のために、大いに泣け*。彼が再び帰って、故郷を見ることがないからだ。

＊捕らえられていく者の上には、
死んだ者たち以上の苦難が!!



ユダの荒野

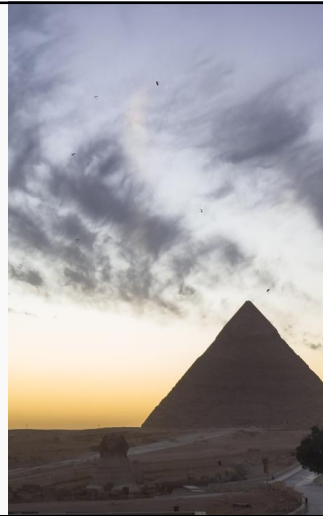
59

御告げ 虜囚の死 エレミヤ22:11～12

父ヨシヤに代わって王となった、ヨシヤの子、ユダの王シャルム*について、【主】はまことにこう言われる。「彼はこの場所から出て行って、二度とここには帰らない。彼は引いて行かれた場所で死に、再びこの地を見ることはない。」

*エホアハズ王

■エホヤキンのおじ・先々代の王エホアハズは、エジプト王ネコに捕らえられ、エジプトで虜囚となっていた。



60

最後の王たち



61

エホヤキンのおじ・エホアハズ王の罪

■列王記第二 23:31～32

エホアハズは二十三歳で王となり、エルサレムで三か月間、王であった。彼の母の名はハムタルといい、リブナ出身のエレミヤの娘であった。

彼は、すべてその先祖たちがしたように、【主】の目に**悪**であることを行った。

62

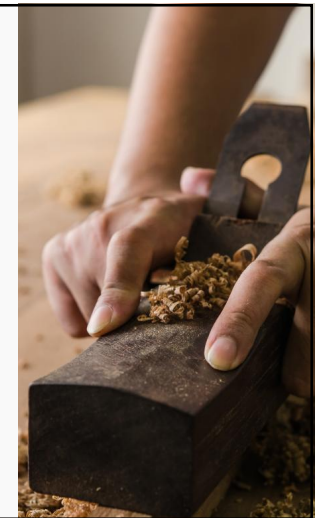
御告げ 不義 エレミヤ22:13～14

「わざわざ。不義によって自分の家を建て、不正によって自分の高殿を建ててる者たち。隣人をただで働かせて報酬も払わず、

『私は自分のために、広い家、ゆったりとした高殿を建てよう』と言い、それに窓を取り付けて、杉の板でおおい、朱を塗る者は。

■民に報酬もなく強制労働を課し、高価な建材を用いた贅沢な邸宅を建てた。

➡不義と貪欲の極み



63

御告げ 義と祝福 エレミヤ22:15

あなたは杉の木で競って、王になろうとするのか。あなたの父*は食べたり飲んだりし、公正と義を行ったではないか。そのとき、彼は幸福であった。

*最後の善王となったヨシヤ王

■ヨシヤ王は、主の律法に立ち返り、正しく国を治め、大いに祝福された。

神の法に従うことが、幸い



64

御告げ 善王の幸福 エレミヤ22:16

虐げられた人、貧しい人の訴えを擁護し、彼は、そのとき幸福であった。それが、わたしを知っていること*ではないのか。

——【主】のことは——

しかし、あなたの目と心は、自分の利得に、さらには、咎なき者の血を流すこと、虐げと暴虐を行うことにだけ向けられている」

*主を知る →主の命令に従うことから
「神の命令を守ること、それが、神を愛することです。Ⅰヨハ 5:3」



65

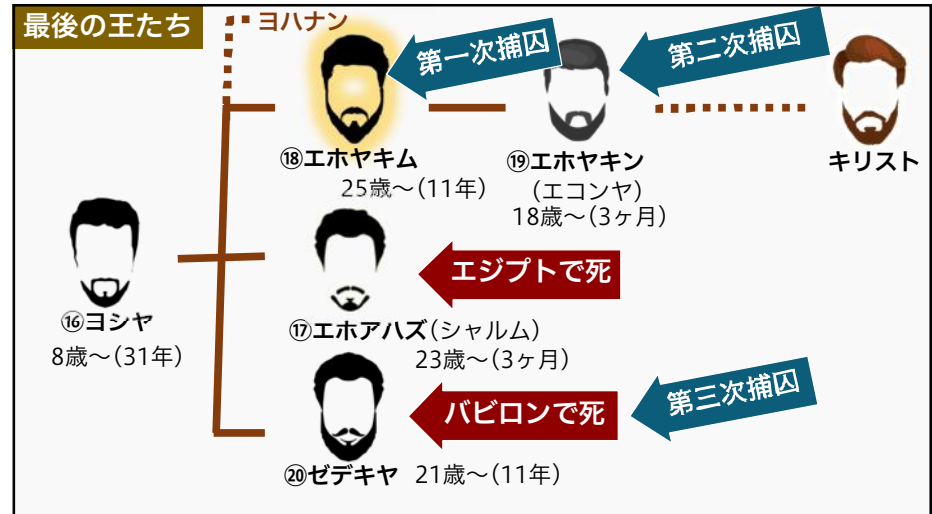
御告げ 悪王の末路 エレ22:18～19

それゆえ、ヨシヤの子、ユダの王エホヤキム*について、【主】はこう言われる。「だれも、『ああ、悲しい、私の兄弟よ。ああ、悲しい、私の姉妹よ』と言って彼を悼まず、だれも、『ああ、悲しい、主よ。ああ、悲しい、陛下よ』と言って彼を悼まない。彼はエルサレムの門の外へ引きずられ、投げ捨てられて、ろばが埋められるように埋められる。」

■捕囚となった父エホヤキム*の最期は悲惨



66



67

エホヤキンの父・エホヤキムの罪

■歴代誌第二36:5～8

エホヤキムは二十五歳で王となり、エルサレムで十一年間、王であった。彼は自分の神、【主】の目に**悪**であることを行った。

彼のもとに、バビロンの王ネブカドネツアルが攻め上って来て、彼を青銅の足かせにつなぎ、バビロンへ引いて行った。

ネブカドネツアルは、【主】の宮の器をバビロンに持ち去り、バビロンにある彼の宮殿に置いた。

エホヤキムについてのその他の事柄、彼が行った**忌み嫌うべきこと**、彼について**露見したことは**、『イスラエルとユダの王の書』にまさしく記されている。

68

御告げ 叫び エレミヤ22:20～21

「レバノンに上って叫び、バシャンで声をあげ、アバリムから叫べ。あなたの恋人たちがみな、砕かれたからだ。

あなたが平穏であったときに、わたしはあなたに語りかけたが、あなたは『私は聞かない』と言った。わたしの声に聞き従わないということ、これが、若いころからのあなたの生き方だった。

■主の命令を知っていながら、主に背いた。

→この責任は重い



69

御告げ 恥辱の時 エレミヤ22:22～23

あなたの牧者たちはみな風に追い立てられ、あなたの恋人たちは捕らわれの身となって行く。そのとき、あなたは自分のすべての悪のゆえに、恥を見、辱めを受ける。

レバノンの中に住み、杉の木の中に巣ごもりする女よ*。あなたに陣痛が、産婦のような激痛が襲うとき、あなたはどんなにうめくことだろう。」

■レバノン産の高級杉材の豪邸生活*は、激痛を伴う裁きによって打ち碎かれる。

捕囚による
神の裁きは
これから本番



70



Ⅲ. 第二次バビロン捕囚

エレミヤ書22章24～29節

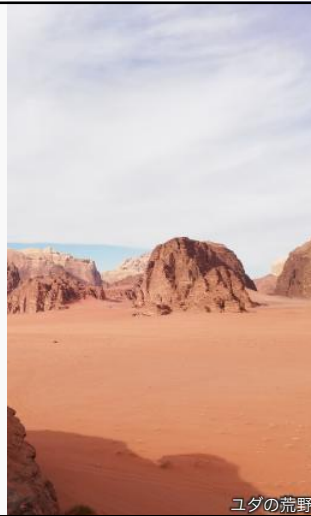
死海の沿岸

71

御告げ バビロン捕囚 エレ22:24～25

「わたしは生きている—【主】のことば—。ユダの王、エホヤキムの子エコンヤ*は、わたしの右手の指輪の印ではあるが、わたしは必ずあなたを指から抜き取り、あなたのいのちを狙う者たちの手、あなたが恐れている者たちの手、バビロンの王ネブカドネツアルの手、カルデア人の手に渡し、

■エホヤキン王*は、バビロニア(カルデア)によって、第二次バビロン捕囚に!!



72

最後の王たち



73

御告げ 捕囚の地で エレミヤ22:26

あなたと、あなたの産みの母を、あなたがたが生まれたところではない、ほかの地に放り出し、そこであなたがたは死ぬことになる。彼らが帰りたいと心から望むこの地に、彼らは決して帰らない。」

■70年に及んだバビロン捕囚。
ほとんどは、捕囚の身で死に絶えた。

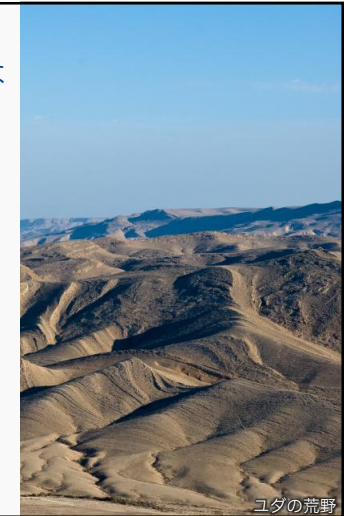


74

警告 裁きの理由 エレミヤ22:28

この人エコンヤは、蔑まれて碎かれる像*なのか。だれにも顧みられない器なのか。なぜ、彼とその子孫は投げ捨てられ、見も知らぬ地に投げやられるのか。

*捕囚を招いた最大の罪は、偶像礼拝



75

御告げ 地よ エレミヤ22:29～30

地よ、地よ、地よ*、【主】のことばを聞け。

「【主】はこう言われる。この人を『子を残さず、一生栄えない男』と記録せよ。彼の子孫のうち一人も、ダビデの王座に着いて栄え、再びユダを治める者はいないからだ」

*他にはない、ここだけの表現

■エホヤキンには、七人の息子がいたが、王位につく者は、一人もいなかった。

この御告げから間もなく、第二次バビロン捕囚が!!



76



Ⅲ. まとめと適用 最後まで残されている救いの希望

ユダの荒野に咲く花

77

エホヤキンに残されていた恵み

- 先々代の王・おじエホアズは、エジプトで
先代の王・父エホヤキムは、バビロンで
→御告げ通り、おじも父も、虜囚先で悲惨な最期を
- エホヤキンは、第二次バビロン捕囚で虜囚となった。
→しかし、まだ恵みが残されていた。

78

エホヤキンに残されていた恵み

■列王記第二25:27～30

ユダの王**エホヤキン**が捕らえ移されて三十七年目の第十二の月の二十七日、バビロンの王エビル・メロダクは、王となったその年のうちにユダの王**エホヤキン**を牢獄から呼び戻し、優しいことばをかけ、バビロンで**彼**とともにいた王たちの位よりも、**彼の**位を高くした。**彼は**囚人の服を脱ぎ、その一生の間、いつも王の前で食事をした。**彼の**生活費はその日々の分を、一生の間、いつも王から支給されていた。

79

エホヤキンに残されていた恵み

- エホヤキン王は、捕囚の身となり、バビロンで投獄。
- 37年後、55歳の時、バビロンの王エビル・メロダクの恩赦を受け、以後は、王の食卓に招かれ、平穏な日々を。
- 主が告げられた通り、故郷への帰還は適わず、子が王になることもなかったが、エホヤキン王の生涯を通じて、主が共におられた。

80

エホヤキンに残されていた「救い」

- マタイ福音書1:11～13,15～16
バビロン捕囚のころ、ヨシヤがエコンヤ(エホヤキン)とその兄弟たちを生んだ。
バビロン捕囚の後、エコンヤがシェアルティエルを生み、シェアルティエルがゼルバベルを生み、ゼルバベルがアビウデを生み、
マタンがヤコブを生み、ヤコブがマリアの夫ヨセフを生んだ。キリストと呼ばれるイエスは、このマリアからお生まれになった。

81

エホヤキンに残されていた「救い」

- マタイ福音書1章に記されたのは、エホヤキンが王となる前の名・エコンヤ。
- イスラエルの王としては認められていないが、悔い改めて、罪赦され、メシアの系図を継ぐ者とされた。
- この世で生かされ、命を与えられている限り、悔い改めて主を信じるのに、手遅れはない。

82

すべての人に、今、注がれている恵みがある

- マタイ福音書5:43～45
『あなたの隣人を愛し、あなたの敵を憎め』と言われていたのを、あなたがたは聞いています。
しかし、わたしはあなたがたに言います。自分の敵を愛し、自分を迫害する者のために祈りなさい。
天におられるあなたがたの父の子どもになるためです。父はご自分の太陽を悪人にも善人にも昇らせ、正しい者にも正しくない者にも雨を降らせてくださるからです。

83

恵みに生かされているうちに

- 一瞬先の運命すら、私たちには分からない。
しかし、生かされているこの瞬間、悪人だろうと善人だろうと、信仰者だろうと不信仰者だろうと、
主の恵みは、天から等しく注がれている。
- すべての人に、主が切に求めておられるのは、
恵みに生かされている内に、ただ主に信頼すること。
主に生かされ、主の赦しの内に、今がある。

84

光があるうちに

- 受難前の主イエスの言葉 マタイ12:35～36
「もうしばらく、光はあなたがたの間にあります。闇があなたがたを襲うことがないように、あなたがたは光があるうちに歩きなさい。闇の中を歩く者は、自分がどこに行くのか分かりません。
自分に光があるうちに、光の子どもとなれるように、光を信じなさい。」

85

この時代、すべての人に求められていること

- ①生かされている内に、主イエスの**福音**を信じる
- ②やがて来る世の終わり(大艱難時代)においては、
再臨の主イエスの来られる前に、**福音**を信じること。
- 信じるべきことは、ただ一つの**福音**。
“神の子、主イエス・キリストは、私の罪のため、
十字架で死なれ、葬られ、死を打ち破って復活された”

86

★ 光があるうちに 光を信じることができるように ★

- 頑なに悔い改めを拒み、裁きを受けたエホヤキン。
主は共におられ、長い苦難の末に、救いに導かれた。
- 今、与えられている恵み。この恵みを拒み通すなら、
主はやがて、その人から永遠に恵みを取り去られる。
- 死に対する人々の幻想が、打ち碎かれるよう祈ろう。
絶望の淵で、唯一の救いに立ち返ることができるように。

87

てん どう わたし つみ
「天のお父さま。私たちの罪をゆるしてください

わたし かみ みこ しゅ
私たちは、神の御子、主イエス・キリストが、

わたし つみ あがな じゅうじか し
①私たちの罪を贖うために十字架で死なれ、

はか ほうむ
②墓に葬られ、

みっかめ ふっかつ しん
③三日目に復活されたこと、を信じます。

わたし あいひとびと すく もと いの
私たちは、愛する人々の救いを求めて祈ります。

めぐ あた ふくいん しん
恵みを与えられているうちに、福音を信じることができますように。

かたく ところ しゅ う くだ たましい し やみ ちよくめん
頑なな心を、主が打ち砕き、その魂を死の闇に直面させてください。

ひかり み いのち みち た かえ
ただ一つの、光に満ちた命の道に、立ち返ることができますように。

しゅ な いの
主イエス・キリストのみ名によって祈ります。 アーメン」

